

はまつ

図書館 だより

6月号

vol.232

令和8年5月29日
浜松市立図書館



令和8年5月9日 中央図書館と国際日本文化研究センター、平野美術館の共催でシンポジウム「遠州の歴史・文化・南画・水墨画」が開催されました。

一般聴講者・関係者100名以上が参加しました。ここでは中央図書館の宝林山房文庫(※)などのコレクション資料も紹介され、図書館所蔵コレクションの重要性が評価されました。

(※)宝林山房文庫は市内の故近藤用一さんが収集した郷土ゆかりの図書・絵画・古文書・短冊のコレクションです。

シンポジウム

「遠州の歴史・文化

・南画・水墨画」の開催

特集

シンポジウム 「遠州の歴史・文化・南画・水墨画」

南画(なんが)とは

中国絵画の影響を受けて、江戸時代に始まった絵画です。主に、山水・花鳥を題材に描いています。

5月9日に開催されたシンポジウム当日の様子を一部お届けします。



趣旨説明 戦暁梅(国際日本文化研究センター教授)

国際日本文化研究センター共同研究は、「文人」の概念を広く「教養がある人、文雅を愛する人」として捉え、「文人文化」の近世から近代への連続性に注目しつつ、その近代における変容の具体像を文学史、美術史、書道史、煎茶文化史、建築史など、複数分野から明らかにすることを目的としています。

今まで江戸や京都などの中央に目を向けてきましたが、遠州南画が盛んな浜松の地で、地方における文人文化に焦点をあてることとなりました。

講演Ⅰ 「文人の旅と交流—浦上玉堂・司馬江漢から語る」 磯田道史(国際日本文化研究センター教授)

文人は日本全国を旅しました。そして、文人の旅は、文人と文人のみならず、文人と人々の交流を呼びました。

平野美術館には、今の福島県の白河藩主で老中をつとめた松平定信にかかわる画帖がありますが、そこには畿内や山陽道筋の文人たちの書画も多く含まれています。女性の作品もあります。ネットワークをもつ文人たちの作品です。

岡山の文人浦上玉堂と江戸の絵師司馬江漢も交流しており、江戸後期には、この文人の旅の交流が少しずつ日本列島の人々の意識を変えつつありました。



講演Ⅱ 「遠州南画の200年—江戸・明治・大正・昭和・平成のあゆみと特色—」 村田隆志(大阪国際大学教授)



遠州地方の南画のはじまりは、江戸の画家谷文晁や掛川藩御用絵師村松以弘に師事した人たちが活躍したからです。

その後三河田原藩の渡辺華山に師事した福田半香や平井顕斎が活躍します。江戸時代から明治にかけては浜松の小栗松靄などが出てきます。南画は明治期に一時衰退しますが、明治の終わりから大正期に再び盛り上がります。渡辺小華に師事した笠井町の山下青厓・青城父子の活躍もそのひとつです。

昭和には紙問屋の平野素芸や弁護士の山田仏頂子など、本業を持ち自娛の境地で南画を描く人々が出てきました。やがて、南画の影響を受けた佐々木鐵心により水墨画が広まり、息子の空心に受け継がれています。

遠州地域は全国的にも、近世・近代・現代の南画を通観できる数少ない地域です。

遠州の水墨画・公開制作 佐々木空心 (東洋水墨美術協会代表)

講演の後、水墨画家の佐々木空心さんの水墨画の公開制作がありました。水墨画の基本となる蘭・梅・竹・菊の4作品(四君子)について解説を交え30分で仕上げました。

通常は水平にして描くところを今日は特別にイーゼルに立てたパネルへ描いていきました。



パネルディスカッション 戦暁海・磯田道史・村田隆志・池澤一郎(早稲田大学教授)・ 田畑潤(愛知県立陶磁美術館主任学芸員)

最後のパネルディスカッションでは、講演の2人の話を受け、池澤一郎さんからは石川鴻斎(磐田)の漢詩文について、田畑潤さんからは文人に流行した煎茶についての話がありました。



雨の多い季節になりました。中央図書館調査支援室では天気に関する辞書も多く所蔵していますが、その中から「雨」だけにスポットをあてた「雨」の辞書をご紹介します。
「狐の嫁入り」「村雨」「発火雨」...どんな雨を表現した言葉かご存じですか？

「雨のことば辞典」
倉嶋厚／監修 講談社 2000年

「雨」にまつわる言葉1190語を50音順に配列した辞典。言葉の他にも「雨」に関する慣用句やことわざ、コラム等も多数掲載。
日本語の豊かさを感じるとともに、「雨」を読んで楽しむ1冊です。



答

「狐の嫁入り」
日が射しているのに雨が降ること。
「村雨(むらさめ)」
ひとしきり強く降っては止み、また降り出す雨。
「発火雨(はっかう)」
清明節(4月5日頃)に、桃の花に降りかかる雨。

図書館からのお知らせ

あかちゃんのための絵本講座(前期)

対象：令和7年4月1日以後に生まれた子を持つ保護者、現在妊娠中の方
会場：市内4会場(中央図書館、城北図書館、西図書館、浜北図書館)
申込：Webフォーム(LoGoフォーム)
※参加には申込が必要です。
日程と申込はHPをご確認ください。 図書館HP



絵本講座

～おうちで読み聞かせを楽しもう～
(5月～7月開催分)

対象：0～3歳くらいの子の保護者
会場：都田図書館、西図書館
※申込は不要です。日程はHPをご確認ください。



図書館HP

はままつ図書館だより No.232 (2026年5月29日発行)

浜松市立中央図書館
浜松市中央区松城町214番地の21
☎ 053-456-0234 FAX 053-453-2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ <https://www.lib-city-hamamatsu.jp/>



図書館だより
バックナンバー



リボンのリコちゃん
図書館へ行く!